

令和 5 年 2 月 27 日

保護者の皆様

吹田市立東山田小学校
校長 植村 誠

学校教育アンケートの集計報告

立春の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、本校の教育活動にご理解ご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、「学校教育アンケート」には、多くの回答をいただき、貴重なご意見を聞かせていただくことができました。ご協力ありがとうございました。

学校アンケートを集計・分析するに当たり、「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の回答を肯定的な意見ととらえて分析いたしました。また、より多面的に分析するために、2年間の結果を同時に掲載して経年比較しやすいようにグラフ化しました。

アンケートの集計結果については、今年度の本校の教育活動についての成果と課題を検証する資料とさせていただきます。今後とも、本校の教育活動の充実のために、保護者の皆様には、よりよき理解者、またよきパートナーとして、引き続きご支援ご協力をいただきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

なお、アンケートの集計結果については、学校ホームページにおいてもご覧いただけるようにします。

【評価全般について】

保護者アンケートの（１）「学級・学年の教育活動に関するもの」（２）「学校教育活動、学校運営に関すること」からは、肯定的な回答が 1 8 項目中 1 2 項目で 9 0 % を越えていました。また、（３）「家庭での接し方」からは、肯定的な回答が 4 項目中すべてで 9 0 % を越えていました。次に、児童アンケートからは、肯定的な回答が 1 3 項目中 1 1 項目で 9 0 % を越えていました。

【保護者アンケートから】

9 0 % 未満の項目については以下の 6 項目でした。

<学級・学年の教育活動に関するもの>

「学級では、学力の定着に役立つよう、学習形態や指導方法を工夫している」

81% (R3) →84% (R4)

「先生は子どものことについての相談に適切に応じてくれる」

89% (R3) →89% (R4)

「いじめのない学級づくりに取り組んでいる」

90% (R3)→85% (R4)

「先生たちは、子どもの人権を尊重する姿勢で指導にあたっている」

86% (R3)→86% (R4)

<学校教育活動・学校運営に関すること>

「学校は、教育方針をわかりやすく伝えている」

89% (R3)→86% (R4)

「学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている」

89% (R3)→86% (R4)

<家庭での接し方>

4項目ともに昨年度同様に90%を超える肯定的な回答でした。

【児童アンケートから】

90%未満の項目については以下の項目でした。

「授業で分からないことは、先生に質問できる」 81% (R3)→81% (R4)

「運動会や音楽会、校外学習などの学校行事は楽しい」 88% (R4)

保護者の皆様も子供たちも概ね学校運営に対し肯定的に捉えて頂いていますが、今後もより多くの保護者の皆様や子供たちの思いに応えられるような教育活動を進めて参ります。また、評価が90%未満の項目については、課題として捉え、工夫・改善に向けた取り組みを進めていかなければならないと考えています。

まず、<学級・学年の教育活動に関するもの>「学習形態や指導方法の工夫」については、学校では、小集団による対話的な学習を進めており、タブレットも使った効果的な授業となるよう取り組みを進めてまいります。今後さらに研究授業に取り組みながら効果的な指導方法の改善工夫に努めます。「先生たちは、子供の相談に応じている」については、先生に対する一定の距離を感じている児童がいるということを担当は自覚し、子供の日頃の様子を感じ取りながら、様々な角度からのアプローチが必要であると感じました。担任

だけではなく学年集団やスクールソーシャルワーカー（SSW）やスクールカウンセラー（SC）も活用しながら、一人ひとりの思いを大切に、いつでも誰にでも、気軽に相談しやすい雰囲気や体制を整えていきたいと思えます。「いじめのない学級づくり」については、取り組みの中で積極的ないじめの認知に努めています。些細なことであっても小さなうちに介入し、解決しておくことの大切さを再認識しているところです。いじめは、どの学級にでもどのタイミングにも起こる可能性があるにとらえています。特にいじめの加害側は、「遊びのつもりだった」「悪意はない」との認識だったとしても被害児童が苦しんだ事実には変わりありません。保護者の皆様にも共にいじめの解決について考えていただけたらと思えます。「子供の人権を尊重する姿勢」については、まずは、子供たちが楽しく学校生活を送るための大前提だと考えております。教職員研修でも取り上げながら人権意識の醸成に努めてまいります。次に＜学校教育活動、学校運営に関すること＞「教育方針について」「学校と家庭との意思の疎通」については、積極的に学校ホームページやブログを活用し発信に努めてまいります。また、欠席連絡をメールシステムの活用により、円滑に行えるようにし、学校便りやその他連絡についても同様に添付書類として配信する方法を考えております。

また、＜家庭での接し方＞の質問の中で、すべて90%を超える回答をいただいております。あらためてご家庭での子供たちへの温かい視点が、児童一人一人の成長を支えていると感じました。特に「学校のことについて子どもと話す時間を持つようにしている」という項目は、学校だけでは把握しきれない子供たちの思いや悩みがそこに現れるときがあります。お子様と会話をさせていただく中で、気になる言動があれば、それがいじめの早期発見にもつながる場合もありますので、少しの時間でもその日のことについてお子様からお話を聞いてあげていただきますようお願いいたします。＜児童アンケート＞「授業でわからないことは先生に質問できる」については、まずは、教師側がしっかりと子供たちの様子を見ながら、指導していくことが大前提だと考えています。そのうえで、「わからないことは決してだめなことではない」ことを伝えながら取り組みを進めてまいります。「運動会や音楽会、校外学習などの学校行事は楽しい」については、新型コロナウイルス感染症予防対策を行いながら少しずつ日常を取り戻してきたところです。以前の学校行事に少しでも近づけるよう進めてまいります。

<保護者のご意見・ご感想について>

学校に対する貴重なご意見・ご感想をお寄せいただきました。肯定的なご意見を多数

いただき、大変励みになりました。また、改善すべき点も明らかになりました。この紙面では1つ1つのご意見に対し適切にお答えすることができませんが、それぞれのご意見を学校として真摯に受け止め、今後の教育活動や学校運営に生かしていきたいと考えています。

支援学級児童を含めると、1学級の上限を超える児童が一つの教室を使う学年については、大きな課題であるととらえています。特に40人を超える学級については、対策が必要であると考えています。

次に、児童が欠席するときの連絡方法が改善されます。これまでの連絡帳等での欠席連絡ではなく、新しく導入される「さくら連絡網」を活用し、登録されたスマートフォン等から欠席の連絡をしていただくこととなります。あわせて、学校便り等もサクラメールを利用した連絡となる予定です。詳細は改めてご連絡させていただきます。

6年生の宿泊行事についてです。この間、臨海学習は、新型コロナウイルスの影響のため中止とさせていただきます。子供たちにとって今しかできない集団での体験を大切にしていきたいとの考えから、その行事にかわる泊を伴う行事として、海洋体験を来年度から行います。ご理解とご協力をお願いします。

来年度の個人懇談については、検討を行っているところです。学校全体の年間行事を見ながら回数や時期等を決めていきたいと考えています。

学校と家庭との信頼関係をより確かなものにするため、ご家庭との情報を共有しながら、子どもたちがより良い学校生活を過ごせるように取り組みを進めてまいります。また、教職員の指導力や資質向上についても、校内の研修体制を充実させながら、外部の研修にも積極的に参加することを促し、これまで以上に人材育成に努めてまいります。

今回のアンケートにつきましては、いずれも、貴重なご意見として受けとめ、今後の教育活動の参考とさせていただきます。ただ、物事のとらえ方や感じ方、価値観等に様々な違いがあり、同じ事柄に対して正反対のご意見も見られます。学校としては、「本校に通う子どもたちにとって大切なことは何か」を基軸に据え、対応を進めてまいります。

子どもたちの健全な育成を願うという目標を、学校と家庭とが一つにするため、今後とも皆様のご協力をお願いいたします。アンケートへのご協力ありがとうございました。